

エクストリームシリーズ2013 第3戦 尾瀬檜枝岐大会

尾瀬檜枝岐大会 優勝チームコメント

加波一族 市村 正明 さん & 梅田 徹 さん

レース前日、天気予報を見ると9時から「曇り」の予報。
雨はなんとか避けられるかな〜と。
だが、朝になっても降りやまず、一時的に強く降る時も。
天気予報をもう一度確認すると、ずっと雨ではないか!
ブリーフィング後もみんなの足取りは重い。。

■ スタート

オランダ帰りの市村(いっちゃん)、料理上手の佐藤さん(族長)、軽量マニアの梅田(梅さん)で参戦。
3人は元々同じ自転車屋さんに行っていた友達からつながったメンバーで元は自転車に乗っていたのだが、トレラン、アドベンチャーレースなど山を中心に遊んでいる仲間だ。
族長、いっちゃんはトレランレースに参加(今では参加低迷気味だが)しているが、トップアスリートというほどではない。梅さんはトレランレースには実は出たことがないのだ。

号令で梅さんが飛び出す、族長、いっちゃんはずいてけない。
思わず「もうちょっとゆっくり〜」と後ろから声が聞こえる。
CP1までは舗装路の軽い上り、結構長いので走力でばらけるところだろう。
川に入ったとたん、いっちゃんコケた。(痛)
CP2まではリバートレック、はじめから靴がビショビショ。
これで全身びしょだ。あとは何でも来い! なぜかテンション↑。

■ 核心部

CP3からCP5は道が書かれていないところにある。CP3は指示書に清水とあるのと、地図では建物が並んでいるので道があると予想して到着。次のCPは指示書に従い児童館の横の道に入る。進めども見つからない。他のチームが立ち止まって探しはじめた、通り過ぎた沢からの距離、ポイント付近の地形から、まだ先と踏んで進むと、空のボックスを発見。地図と実際の地形を一致させる作業はナビゲーションの勘所であり醍醐味だ。加波一族の地図読み係り主担当は梅さん。細かい地図読み、素早い判断だが、立ち上がりに難あり。いつもCP3あたりで大失速、一旦はピリ近くまで落ちるのが常だ。

だが、今回は違った。そこからは平らな笹藪を進む、道など無いのだが、いっちゃんはまるで道が見えるがごとく走った。なにか降臨したみたいだった。トップでササ藪を駆け巡る。何かいつもとは違う予感が。しかしCP5手前で川に近い方に進んでしまい、河原に下りたら岩で進めなくなった。すぐ引き返すもすでにボックスには多くのカードが入っていた。後は道路に出てCP6で釣り、はじめは釣れないが檜枝岐の宣伝パンフに魚つかんで映っているいっちゃんとしては、岩魚を入れ食いで釣って抜けるはずだったが、今日の岩魚は餌に見向きもしない。ポイントとえさの付け方を教わりなんとか梅さん1匹クリア。続いて梅さん2匹目もクリア。だんだん面白くなってきた。チームで10匹くらい釣ってもいいと思った。最後はいっちゃん釣り上げクリア。20分くらいかかってしまった。だいぶ順位は落ちたような気がした。

CP10まではクイズを解きながら走る。温泉の水はにおいを嗅いだら手袋にのびるにおいがして、惑わされる場所だった。あぶない、危ない。クイズは慎重に丁寧に取っていかないとね。以前に苦い思い出のある加波一族。クイズは丁寧に取るべし。族訓です。

ここで4位。直前に3位のチームがいる。まさに馬にニンジンがぶら下がっているようだ。

■ 追い上げ

MTB、舗装路の上りで前のチームが見えるがなかなか差が縮まらず。ちょっとMTBには自信があったが、最近の練習不足と晩酌の多さが祟ったのか、ようやくの思いでCP11のチェックで追いつく。林道の上りはこちらの方が早いようなので先を行かせてもらい、先を急ぐ。これで3位、1位との差は10分以内だ。CP12の後の堪え難い冷たさの川をいくつか渡り笹藪を進むと、なんと連勝中のチームコナ・ウィンに追いつく。かなり離れていたと思ったのだがこんなに近くだとびっくりした。自転車の担ぎなので体力をなるべく温存し無理に追い越さず、様子を見ながら付かず離れずについて行った。最後の舗装路が勝負どころだと思いきや今まで取っていなかった補食を取ることに。近づいたら補食を取り、離れたら頑張るを繰り返した。CP13にカードをいれてから、担ぎの上りがしばらく続いた。族長が補給を取りたいと申し出るもいっちゃんは次のCP14(1380m)まで少し待ってと却下。梅さんの高度計は900mを指していたのでまだありますよと言った。少し進んでまた高度計を見ると標高が変わらない。おかしいなと思ってよく見ると見ていたのは時計の分針だということに気がつく。アナログの高度計は見にくいし、だいい

ちスタート地点が950mなのだから、さっき気づくべきだった。一方、いっちゃんの高度計はあと50mUPだと分かっていたのだ。チームコナ・ウィンがスピードを上げて逃げて行ったので、族長には申し訳ないが、結局CP14では補給タイムを取らずに出発した。久しぶりに走ったシングルトラック!3人とも楽しー!!!つづら折れも綺麗にターン!加波山で培ったエクストリームな下りを楽しんで下る技を遺憾なく発揮した。すると前のチームがパンクしているではないか。これからのがっぶり4つの勝負とと思っていたがちょっと残念。そこからは安全運転に切り替わった。CP15を取って林道出口のCP16に到着、ここでは1位との差は2分、まだ追いつけるか?「とにかくがんばろう」ということで舗装路を爆走!いっちゃん、梅さん、族長の順。だが途中まで来ると族長が千切れていた。スピードを落とし族長を待つ。舗装路の下りをとばしたが結局追いつかずゴール。しかし表彰式でトップだと思っていたチームがペナルティで3位になりうちが優勝となってしまった。エクストリームシリーズは数多く参戦し今回は偶然が重なり、優勝できたが、初めてでまぐれでも嬉しい。

祭りもいつもとは今回から違って、街の人も加わり楽しいひと時となった。

もちつき、じゃんけん大会でこんなにも盛り上がるなんて。

かわばたキャンプ場に帰ってから、チームでもう一回勝利をかみしめながら飲んだ。

改めて思うと、連勝中のチームコナ・ウィンの連勝をストップさせてしまったことに、次回からはどうなる?とか。追う立場から追われる立場に。まっ、1回だけかもしれないが。

次回も楽しんで行こうっと。

悪天候にも関わらず、レースの実行運営はすごく大変だと思う。

スタッフの皆様、地域の皆様、そして救護サポートをくださった国土館大の皆様、ありがとうございました。

次回の大会も楽しみにしています。よろしくお祈いします。

■ 次の日

レースの後は登山。桜枝岐にせっかく来たのだから(族長談)

周りの山は行きつくし、今回は七が岳。結構手ごわい山だった。

次回の奥大井では南アルプスだなぁ! 楽しみ〜!